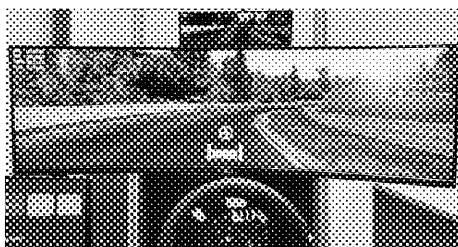


コンカレント日本と協業

SOLIZE Urreka 自動運転の体感装置

SOLIZE Urreka Technology (東京都千代田区、堤寛朗社長) は、自動運転シミュレ



ーション開発でコンカレント日本Viergrade事業部(同台東区)と協業を始めた。レーストラックを題材としたデモコンテンツで技術レベルの高さを体感してもらい、開発案件の受注につなげる。自動運転シミュレーターは2021年に導入し、展示会などでデモを実施してきた。自

SOLIZE Urreka Technologyが開発した自動運転シミュレーション

動、手動のほか、自動運転アルゴリズムがステアリング制御をサポートするアシストモーターを搭載。サーキットでの限界走行が容易に可能だ。MBD C&M事業部の安野芳樹デクニカルフェローは「自動車メーカーのほか幅広い業界に訴求したい」と話す。

SOLIZE Urreka Technologyの自動運転シミュレーターは制御アルゴリズム、交通シナ

リオ生成、視界表示、車両ダイナミクスモデルで構成される。交通シナリオ生成などでViergradeの製品・技術を活用してきた。制御アルゴリズムは自社開発した。

Viergradeは車両ダイナミクスのシミュレーションで長年の知見を持つ。